

～もうすぐ1年生～



5歳児さくらさんはもうすぐ1年生。

さくらさんたちは、そら、やまの部屋で3歳児さん4歳児さんたちと共に生活をし、小さい子たちから憧れられたり、自分の持っている力を貸してあげたり、時にはケンカしたりしながら育ち合ってきました。そして、友だちの気持ちを感じとり、仲直りする喜び、人として生きる土台を築いてきました。

これから先、いろいろなことがあって落ち込むこともあるかと思いますが大丈夫。子どもたちは、生活力や考える力、人と共に力を合わせてやっていく喜びをたくさん培って来ました。小学校に行っても、友だちとたくさん遊び、勉強し、命を大切に、そして、お家のお手伝いもやって、毎日元気にすごしてください。

卒園そして小学1年生、おめでとう！

新域直世



興味のたねまき

今日を生きる若者チームのメンバーが、自らをエンパワーしてくれた作品や、あなたの心に寄り添うかもしれない活動を紹介します。現代社会は、効率性や生産性を過度に求めすぎること、心の栄養につながる、自分を大切にす芸術や活動が排除されているのでは？という素朴な疑問を抱いた私たち。成果や効率のためではなく、長い時間をか

けて芽が出てくる、そういうものと出会ったり、向き合ったりする余白や余暇が私たちに必要なのではないのでしょうか。すべてがあなたの成長につながるわけではないけれど、結果として自分の人生や自分自身を形成していく「たね」になる。そんな自分と同じ歩幅で歩いてくれる作品や芸術に出会う機会となりますように。

QRコードから、紹介されている作品にアクセスできます。



人形劇俳優・演出家 ^{たいら じょう}平常

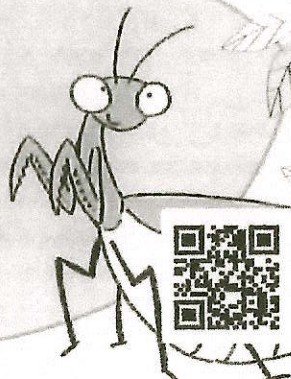
独自の表現方法で「年齢を問わない全ての人の文化に」と、赤ちゃん向けからおとな向けまでの人形劇を上演

高校3年生の時、平常の人形劇に心を揺さぶられました。ダイナミックな人形劇は観る者を圧倒し、観る者の心で人形の表情が変わります。大学で子どもたちに人形劇を披露するサークルへの入会を決めたきっかけでもあります。その時に出会った言葉「劇場は心のレストラン」。ぜひ、みなさんも心に栄養を！【八織】

絵本『わたしとなかよし』

ナンシー・カールソン(著) 自分の素敵なお友だちは「わたし」だと考えるブタさんが主人公の絵本

主人公のブタさんは、「わたしはいつもわたしと一緒にいる」と考え、友だちを思いやるように自分のことを大切にします。友だちのことを思いやることも大切だけど、それと同じくらい自分を大事にすることも大切なのです。自分が自分の一番の味方なのだということに気づき、自分を大切にしようと思わせてくれる素敵な絵本です。【古賀】



2023

子ども自書

かもがわ出版
日本子どもを守る会 編
より抜粋